

作成日：2010年03月01日

改訂日：2017年09月01日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	苛性ソーダ (48%)
該当銘柄	苛性ソーダ (48%)
会社名	株式会社エム・ケイ・ケミカル
住所	福岡県福岡市中央区大名1丁目1番1号 〒810-0041 天神有明ビル
担当部門	営業グループ
電話番号	092-713-1886
FAX番号	092-713-4313
緊急連絡電話番号	品質管理グループ 0968-53-2881
奨励用途及び使用上の制限	食品添加物及び工業用途

2. 危険有害性の要約

GHS分類 ⁴⁾	皮膚腐食性／刺激性	区分1
	水生環境有害性（急性）	区分3
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分1
	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器）

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷
- ・呼吸器の障害
- ・水生生物に有害

注意書き
〔安全対策〕

- ・取り扱い後、手、顔などを流水でよく洗うこと。
- ・ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、喫煙又は飲食をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

〔応急措置〕

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄すること。
 - ・直ちに医師に連絡し指示を仰ぐこと。
 - ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 - ・漏出物を回収すること。
 - ・施錠して保管すること。
 - ・耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
 - ・内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。
- [保管]
- [廃棄]

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物(水溶液)
化学名	水酸化ナトリウム
別名	苛性ソーダ
化学特性 (化学式)	NaOH
CAS番号	1310-73-2
濃度又は濃度範囲 (含有量)	48% = 48.00%以上
官報公示整理番号	1-410
化審法・安衛法	
危険有害成分	水酸化ナトリウム

4. 応急措置

- 吸入した場合
- ・新鮮な空気のある場所に移し、うがいをさせ、安静保温に努める。直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合
- ・呼吸困難又は呼吸が停止している時は直ちに人工呼吸を行う。
 - ・多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合
- ・直ちにコンタクトレンズを外し、少なくとも15分以上大量の水で洗眼し、きれいな指で瞼の裏をめくって洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合
- ・口をすすいだ後、吐かせないこと。直ちに医師の手当てを受ける。
- 応急措置をする者の保護
- ・汚染された衣類や保護具を取り除く。救助者が有害物質に触れないように手袋を使用するなど注意する。

5. 火災時の措置

- 消火剤
- ・本品は不燃性である。
- 火災時の特有危険有害性
- ・溶液は腐食性なので、保護具を着用する。溶液は滑りやすいので気を付ける。
- 特有の消火方法
- ・火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、必ず呼吸保護具を着用する。

消化を行う者の保護

- ・消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、ミスト等が皮膚に腐着したり、ミストを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を避難させる。こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

環境に対する注意事項

- ・漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収、中和

- ・適切な保護具を着用してできるだけ空容器に回収する。場合によっては希酸で注意深く中和し、その後大量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・眼及び皮膚への接触を避ける。
 - ・アルカリ性物質なので、酸性物質との接触を避ける。
- 注意事項
- ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
 - ・漏れ、溢れ、飛散しないように、みだりに蒸気を発生させない。
 - ・使用後は容器を密閉する。
 - ・取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 - ・休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。
 - ・指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
 - ・取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 安全取扱い注意事項
- ・吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では局所換気装置を使用する。

保管

安全な保管条件

- ・直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- ・通風をよくし、蒸気が滞留しないようにする。

技術的対策

混触禁止物質

- ・水反応可燃性物質。
アルカリ性なので、酸性の製品とは同一場所に貯蔵しないこと。

安全な容器包装材料

- ・ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準
許容濃度

設定されていない

OSHA PEL

air CL 2mg/m³

ACGIH TLV(s)

CL 2mg/m³

日本産業衛生学会

2mg/m³

保護具

呼吸器の保護具

- ・保護マスク

手の保護具	・保護手袋
目の保護具	・保護眼鏡、ゴーグル型又は全面保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	・保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

形状	液体(水溶液)又は固体
色	無色透明
臭い	無臭
pH	強アルカリ
沸点(初留点)	138℃(48%)
融点	知見なし
引火点	知見なし
自然発火温度	知見なし
爆発範囲の上限/下限	知見なし
蒸気圧	知見なし ³⁾
比重(相対密度)	1.5108(48.00%)
溶媒に対する溶解性	水、アルコールに可溶。
オクタノール/水分配係数	知見なし
分解温度	知見なし

10. 安定性及び反応性

安定性	・安定。強アルカリ性で炭酸ガスを吸収しやすい。
危険有害反応可能性	・アルミニウム、すず、亜鉛などの金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合すると引火爆発の危険がある。
避けるべき条件	・日光、熱、酸
混触危険物質	・強酸、金属、水反応可燃性物質
危険有害な分解生成物	・知見なし

11. 有害性情報⁴⁾

苛性ソーダ(水酸化ナトリウム)のデータを示す。	
急性毒性	腹腔内-マウス LD ₅₀ : 40mg/kg(RTECS) 経口-ウサギ LDLo : 500mg/kg(RTECS) 経口-ヒト LDLo : 1.57mg/kg(RTECS)
皮膚腐食性/刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷(区分1) 皮膚刺激ウサギ 50 µg/24H 重度(RTECS) ヒト皮膚に対して0.5%以上で刺激性を示す。 ブタ皮膚に対して8%以上で腐食性を示す。 ウサギ皮膚に対して、5%4時間で重度の壊死を引き起こす。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	重篤な眼の損傷(区分1) 目刺激ウサギ 500mg/24H 重度(RTECS) 目刺激ウサギ 1mg/30S 重度(RTECS) ヒト眼に対して重篤な損傷を引き起こす。 ウサギ眼に対して重篤な損傷を引き起こす。
生殖細胞変異原性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	染色体異常試験: バック静脈注 20mg 臓器の障害(呼吸系)(区分1) ヒト呼吸器、気道を刺激し、肺水腫を引き起こす

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	水生生物に毒性(区分 3) 強アルカリ性。水生生物に有害な影響を与える可能性がある。 甲殻類 $LC_{50}(48H)=40.4mg/L$
残留性/分解性	知見なし
生体蓄積性	知見なし

1 3. 廃棄上の注意事項

- 残余廃棄物 ・中和法
水を加えて希薄な水溶液とし、酸(希硫酸)で中和した後、大量の水で希釈して排水する。
本品を酸で中和する時、発熱するので注意する。
- 汚染容器・包装 ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分すること。

1 4. 輸送上の注意

- 国際規制⁴⁾
- | | |
|--------|---|
| 国連分類 | クラス 8 (腐食性物質) |
| 国連番号 | 1824 |
| 品名 | 水酸化ナトリウム (水溶液) |
| 容器等級 | PG II |
| 海洋汚染物質 | 該当 |
| 注意事項 | 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。 |

1 5. 適用法令⁵⁾

- | | |
|-------------|---|
| 消防法 | ・非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ・劇物 |
| 労働安全衛生法 | ・法第 57 条の 2 (令第 18 条の 2) 名称等を通知すべき有害物 No. 319
規則第 326 条腐食性液体 |
| 船舶安全法(危規則) | ・腐食性物質 |
| 航空法 | ・腐食性物質 |
| 海洋汚染防止法 | ・有害液体物質 (Y 類物質) 施行令別表第 1 |
| 大気汚染防止法 | ・特定物質法第 17 条第 1 項 |
| 化学物質管理促進法 | ・非該当 |
| 水質汚濁防止法 | ・指定物質(法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3)
【6 水酸化ナトリウム】 |
| 外国為替及び外国貿易法 | ・輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項 |

1 6. その他の情報

引用文献

- 1) 危険物ハンドブック(ギンター・ホンメル編, 1991)
- 2) 三省告示(厚生労働省、経済産業省、環境省 GHS 関係省庁連絡会議, 2007)
- 3) 国際化学物質安全性カード(2007)

- 4) ソーダ工業 製品安全データシート集（日本ソーダ工業会(1993)
- 5) Chemical Database Search Service (化学品法規制検索システム)
- 6) Ariel Chemical Search

記載内容の問い合わせ先	会社名	株式会社エム・ケイ・ケミカル
	住所	福岡県福岡市中央区大名1丁目1番1号 〒810-0041 天神有明ビル
	担当部門	営業グループ
	電話番号	092-713-1886
	FAX番号	092-713-4313

記載内容の取扱い

本製品安全データシートは、当社の持つ知見をもとに十分注意を払って作成しております。

しかしながら、この記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性・引用文献の内容・全ての生態影響の網羅を保証するものではありません。

新たな情報の入手、新しい知見の発表や従来の説の訂正により、本製品安全データシートは追加又は訂正されることがあります。

また、本製品安全データシートは含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

使用におかれましては、適用法令に従うと共に、この製品安全データシートを参考に、貴社の使用条件に即した取扱い上の注意を検討確立し、安全に使用していただきますようお願い申し上げます。

以上